



認 定 書

国住参建第 3493 号
令和 8 年 1 月 6 日

株式会社チューオー
代表取締役 高曾 靖 様

国土交通大臣 金子 恭之

下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第八号並びに同法施行令第 108 条第一号及び第二号（外壁（耐力壁）：各 30 分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

PC030BE-4065-1

2. 認定をした構造方法等の名称

人造鉱物繊維断熱材充てん／硬質ウレタンフォーム裏張鋼板・構造用面材
〔木質系ボード、セメント板、せっこうボード又は火山性ガラス質複層板〕
表張／せっこうボード裏張／木製枠組造外壁

3. 認定をした構造方法等の内容

別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。
令和 7 年 10 月 1 日より大臣印の押印が廃止されております。



素晴らしい人間環境づくり

ニチハ株式会社

管理番号 NICHIIHA・F-



別 添

1. 構造名：

人造鉱物繊維断熱材充てん／硬質ウレタンフォーム裏張鋼板・構造用面材〔木質系ボード、セメント板、せっこうボード又は火山性ガラス質複層板〕表張／せっこうボード裏張／木製枠組造外壁

2. 仕様の寸法：

仕様の寸法を表1に示す。

表1 仕様の寸法

項 目	仕 様
壁の高さ	構造計算等によって構造安全性が確かめられた寸法
壁厚	143.5(±2.0)mm 以上
たて枠間隔	500mm 以下

3. 仕様の主構成材料：

仕様の主構成材料を表2に示す。

表2 仕様の主構成材料

項 目	仕 様
たて枠 (荷重支持部材)	材料：平成 13 年国土交通省告示第 1540 号に適合する壁のたて枠 断面寸法：38×89mm 以上
上枠、下枠	材料：平成 13 年国土交通省告示第 1540 号に適合する壁の上枠及び下枠材 断面寸法：38×89mm 以上

つづく

つづき

外装材	材料：硬質ウレタンフォーム裏張鋼板 仕様：外装材(1)～(3)の一
外装材(1)	<p>構成：①～③</p> <p>①表面材</p> <p>材料：1)～19)の一</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 塗装／亜鉛めっき鋼板(国土交通大臣認定不燃材料：NM-8697) 2) 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3302) 3) 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3312) 4) 溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3317) 5) 塗装溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3318) 6) 溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321) 7) 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322) 8) ポリ塩化ビニル被覆金属板 (JIS K 6744、金属板のアルミニウム又はアルミニウム合金板は除く) 9) 一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101) 10) 冷間圧延鋼板(JIS G 3141) 11) 熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131) 12) 電気亜鉛めっき鋼板(JIS G 3313) 13) 建築構造用溶融亜鉛－アルミニウム－マグネシウム合金めっき鋼板(国土交通大臣認定指定建築材料：MSTL-0064、0065、0069、0070、0362、0395) 14) 溶融亜鉛－アルミニウム－マグネシウム合金めっき鋼板(JIS G 3323) 15) ポリエチレン被覆溶融亜鉛めっき鋼板 <p>母材：a)～l)の一</p> <ol style="list-style-type: none"> a) 塗装／亜鉛めっき鋼板(国土交通大臣認定不燃材料：NM-8697) b) 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3302) c) 溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3317) d) 溶融 55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321) e) ポリ塩化ビニル被覆金属板 (JIS K 6744、金属板のアルミニウム又はアルミニウム合金板は除く) f) 一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101) g) 冷間圧延鋼板(JIS G 3141) h) 熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131) i) 電気亜鉛めっき鋼板(JIS G 3313) j) 建築構造用溶融亜鉛－アルミニウム－マグネシウム合金めっき鋼板(国土交通大臣認定指定建築材料：MSTL-0064、0065、0069、0070、0362、0395) k) 溶融亜鉛－アルミニウム－マグネシウム合金めっき鋼板(JIS G 3323) l) 溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314) <ol style="list-style-type: none"> 16) 溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314) 17) 冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305) 18) 熱間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4304) 19) 塗装ステンレス鋼板(JIS G 3320) <p>17)～19)の鋼種：フェライト系及びマルテンサイト系に限る</p>

つづく

つづき

外 装 材	外装材(1)	<p>塗装又は被覆の有機質量： 表面側；$65(\pm 7)\text{g/m}^2$以下 裏面側；$24.6(\pm 3)\text{g/m}^2$以下 塗装の材質：1)～9)の一、又は組合せ 1) ポリエステル系樹脂 2) フッ素系樹脂 3) アクリル系樹脂 4) ウレタン系樹脂 5) エポキシ系樹脂 6) ポリ塩化ビニル系樹脂 7) ポリエチレン系樹脂 8) シリコーン系樹脂 9) 無機系 厚さ：$0.27(\pm 0.05)\text{mm}$以上 ②芯材 材料：硬質ウレタンフォーム 組成(質量%)： ポリイソシアネート(ポリメリックMDI) $59(\pm 6)$ ポリエーテル系ポリオール $30(\pm 4)$ 水 $3(\pm 3)$ 難燃剤(リン酸エステル等) $6(\pm 2)$ 添加剤(ウレタン化触媒、整泡剤等) $2(\pm 3)$ ※水及び添加剤の割合が0以下となる仕様は含まない 厚さ：$17.5(\pm 2)\text{mm}$ 密度：$24(\pm 3)\text{kg/m}^3$ イソシアネート指数：82 ③裏面材 材料：1)又は2) 1) はり合せアルミニウムはく 厚さ：$0.2(\pm 0.1)\text{mm}$以上 有機質量：$88.7(\pm 9)\text{g/m}^2$以下 2) ①表面材と同じ 厚さ：$0.16(\pm 0.04)\text{mm}$以上 塗装又は被覆の有機質量：$88.7(\pm 9)\text{g/m}^2$以下 表面の形状：平滑又はエンボス(最大深度4mm) 断面欠損率：$11(\pm 1.1)\%$以下 厚さ：$18(\pm 2)\text{mm}$以上 幅：$423(\pm 10)\text{mm}$ 働き幅：$385(\pm 10)\text{mm}$ 張り方：縦張</p>
-------------	--------	---

つづく

つづき

外装材	外装材(2)	<p>構成：①～③</p> <p>①表面材 材料：外装材(1)①表面材と同じ 塗装又は被覆の有機質量： 表面側：65.0(±7)g/m²以下 表面側及び裏面側の合計：70.3(±7)g/m²以下 塗装の材質：外装材(1)①表面材と同じ 厚さ：0.27(±0.05)mm以上</p> <p>②芯材 材料：硬質ウレタンフォーム 組成(質量%)： ポリイソシアネート(ポリメリックMDI) 64(±7) ポリエーテル系ポリオール 28(±4) 水 3(±3) 難燃剤(リン酸エステル等) 3(±2) 添加剤(ウレタン化触媒、整泡剤など) 2(±3) ※水及び添加剤の割合が0以下となる仕様は含まない 厚さ(一般部)：17.5(±2)mm 密度：21(±3)kg/m³ イソシアネート指数：85</p> <p>③裏面材 材料：1)又は2) 1)はり合せアルミニウムはく 厚さ：0.2(±0.1)mm以上 有機質量：90.0(±9.0)g/m²以下 2)外装材(1)①表面材と同じ 塗装又は被覆の有機質量：90.0(±9.0)g/m²以下 塗装の材質：外装材(1)①表面材と同じ 厚さ：0.16(±0.04)mm以上 表面の形状：平滑又はエンボス(最大深度3.5mm) 断面欠損率：5.5(±0.6)%以下 厚さ：18(±2)mm以上 幅：423(±10)mm 働き幅：385(±10)mm 張り方：縦張</p>
-----	--------	---

つづく

つづき

外 装 材	外装材(3)	<p>構成：①～③</p> <p>①表面材 材料：外装材(1)①表面材と同じ 塗装又は被覆の有機質量： 表面側：60.8(±6)g/m²以下 表面側及び裏面側の合計：65.0(±7)g/m²以下 塗装の材質：外装材(1)①表面材と同じ 厚さ：0.27(±0.05)mm以上</p> <p>②芯材 材料：硬質ウレタンフォーム 組成(質量%)： ポリイソシアネート(ポリメリックMDI) 62(±6) ポリエーテル系ポリオール 28(±4) 水 3(±3) 難燃剤(リン酸エステル等) 6(±2) 添加剤(ウレタン化触媒、整泡剤など) 1(±3) ※水及び添加剤の割合が0以下となる仕様は含まない 厚さ(一般部)：17.5(±2)mm 密度：24(±3)kg/m³ イソシアネート指数：85</p> <p>③裏面材 材料：1)又は2) 1)はり合せアルミニウムはく 厚さ：0.2(±0.1)mm以上 有機質量：141.4(±14.1)g/m²以下 2)外装材(1)①表面材と同じ 塗装又は被覆の有機質量：141.4(±14.1)g/m²以下 塗装の材質：外装材(1)①表面材と同じ 厚さ：0.16(±0.04)mm以上</p> <p>表面の形状：平滑又はエンボス(最大深度1mm) 断面欠損率：3.7(±0.4)%以下 厚さ：18(±2)mm以上 幅：423(±10)mm 働き幅：385(±10)mm 張り方：縦張</p>
-------------	--------	---

つづく

つづき

構造用面材	仕様：(1)～(4)の一
(1)木質系ボード	材料：①～⑤の一 ①構造用合板 （日本農林規格に適合するもの、全層すぎを除く、加工品を含む） 厚さ：9mm以上 ②構造用パネル（日本農林規格に適合するもの、加工品を含む） 厚さ：9mm以上 ③パーティクルボード（JIS A 5908） 厚さ：9mm以上 ④シージングボード（JIS A 5905） 厚さ：12mm以上 密度：0.33～0.42g/cm ³ ⑤構造用MDF（JIS A 5905） 厚さ：9mm
(2)セメント板	材料：①～⑥の一 ①硬質木毛セメント板（JIS A 5404） 厚さ：15mm以上 ②硬質木片セメント板（JIS A 5404） 厚さ：12mm以上 ③パルプセメント板（JIS A 5414） 厚さ：9mm以上 ④けい酸カルシウム板（JIS A 5430） 厚さ：9mm以上 ⑤両面アクリル系樹脂塗装／パルプ・けい酸質混入セメント板 （国土交通大臣認定準不燃材料：QM-0457） 厚さ：9mm以上 ⑥繊維混入けい酸カルシウム板（国土交通大臣認定不燃材料：NM-8578） 厚さ：9mm以上
(3)せっこうボード	材料：①～⑤の一 ①せっこうボード（JIS A 6901） 厚さ：9.5mm以上 ②強化せっこうボード（JIS A 6901） 厚さ：12.5mm以上 ③両面ボード用原紙張／せっこう板（国土交通大臣認定不燃材料：NM-4127） 厚さ：9.5mm以上 ④ボード用原紙張／ガラス繊維混入せっこう板 （国土交通大臣認定準不燃材料：QM-0954-1、QM-0955-1） 厚さ：9.5mm以上 ⑤ボード用原紙張／ガラス繊維混入せっこう板 （国土交通大臣認定難燃材料：RM-0059） 厚さ：9.5mm以上
(4)火山性ガラス質複層板	材料：火山性ガラス質複層板（JIS A 5440） 厚さ：9mm以上

つづく

つづき

内装材	材料：①又は② ①せっこうボード(JIS A 6901) ②強化せっこうボード(JIS A 6901) 厚さ：12.5mm以上
充てん断熱材	材料：①又は② ①人造鉱物繊維保温材(JIS A 9504) ②建築用断熱材(JIS A 9521) 種類：1)又は2) 1) グラスウール 2) ロックウール 厚さ：89mm以上 密度：16kg/m ³ 以上

4. 仕様の副構成材料：

仕様の副構成材料を表3に示す。

表3 仕様の副構成材料

項 目	仕 様
胴縁	材料：①～⑥の一 ①日本農林規格に適合する針葉樹の構造用製材、造作用製材又は下地用製材(加工品を含む) ②日本農林規格に適合する針葉樹の構造用集成材又は集成材(加工品を含む) ③日本農林規格に適合する構造用単板積層材又は造作用単板積層材(加工品を含む) ④日本農林規格に適合する枠組壁工法構造用製材又は構造用たて継ぎ材(加工品を含む) ⑤平成12年建設省告示第1452号第五号に規定する無等級材又は第六号に規定する木材 ⑥日本農林規格に適合する構造用合板又は普通合板(加工品を含む) 密度：0.30(±0.03)g/cm ³ 以上 寸法： 一般部；15×45mm以上 縦継ぎ部；15×45mm以上2列配置又は15×90mm以上 取付間隔：500mm以下
受け材	仕様：あり又はなし 材料：胴縁と同じ 寸法：25×25mm以上 配置：内装材横目地部又は構造用面材横目地部
防水紙	仕様：あり又はなし 材料：①及び② ①透湿防水シート(JIS A 6111) 材質：1)～3)の一、又は組合せ(積層したもの) 1)ポリエチレン 2)ポリエステル 3)ポリプロピレン 単位面積質量：160(±16)g/m ² 以下 ②アルミニウム層 仕様：あり又はなし
防湿シート	仕様：あり又はなし 材料：①～③の一 ①住宅用プラスチック系防湿フィルム(JIS A 6930) ②包装用ポリエチレンフィルム(JIS Z 1702) ③農業用ポリエチレンフィルム(JIS K 6781) 厚さ：0.2(±0.1)mm以下 質量：190(±20)g/m ² 以下

つづく

つづき

シーリング材	仕様：あり又はなし 材料：建築用シーリング材(JIS A 5758) 使用量：0.1g/m 以上 使用箇所：外装材縦継ぎ部
内装材目地処理材	仕様：あり又はなし 材料：①又は①及び② ①せっこうボード用目地処理材(ジョイントコンパウンド、JIS A 6914) ②ジョイントテープ 材質：1) 又は 2) 1) ガラス繊維 2) 紙
気密材	仕様：あり又はなし 材質：1)～7)の一、又は組合せ 1) ポリサルファイド系 2) 変成シリコーン系 3) エチレン・酢酸ビニル系 4) EPDM系 5) 塩化ビニル系 6) 熱可塑性エラストマー系 7) 合成ゴム系 質量：0.1g/m以上
接着剤	外装材仕様(1)の場合： 仕様：あり又はなし 材質：ホットメルト系 質量：4.2(±0.4)g/m以下 外装材仕様(2)又は(3)の場合： 仕様：なし
留付材	外装材固定用： 材料：①又は② ①くぎ ②ねじ 材質：鋼製又はステンレス鋼製 寸法：胴部径又は呼び径φ2.11×長さ 38mm 以上 留付間隔：鉛直方向 500mm 以下 水平方向 385mm 以下
	役物固定用： 材料：①又は② ①くぎ ②ねじ 材質：鋼製又はステンレス鋼製 寸法：胴部径又は呼び径φ2.11×長さ 38mm 以上 留付間隔：1000mm 以下

つづく

つづき

留付材	胴縁固定用： 材料：①又は② ①くぎ ②ねじ 材質：鋼製又はステンレス鋼製 寸法：胴部径又は呼び径 $\phi 2.41 \times$ 長さ 45mm 以上 留付間隔：500mm 以下
	受け材固定用(受け材を使用する場合)： 材料：①又は② ①くぎ ②ねじ 材質：鋼製又はステンレス鋼製 寸法：胴部径又は呼び径 $\phi 2.41 \times$ 長さ 45mm 以上 留付間隔：1 本/箇所以上
	構造用面材固定用： 材料：①又は② ①くぎ ②ねじ 材質：鋼製又はステンレス鋼製 寸法：胴部径又は呼び径 $\phi 1.83 \times$ 長さ 32mm 以上 留付間隔：周辺部 150mm 以下 中間部 200mm 以下
	内装材固定用： 材料：①又は② ①くぎ ②ねじ 材質：鋼製又はステンレス鋼製 寸法：胴部径又は呼び径 $\phi 1.65 \times$ 長さ 25mm 以上 留付間隔：周辺部 150mm 以下 中間部 200mm 以下
	充てん断熱材固定用： 材料：ステーブル 材質：鋼製又はステンレス鋼製 寸法：肩幅 10mm 以上 $\times$ 足長さ 6mm 以上 留付間隔：鉛直方向 250mm 以下

つづく

つづき

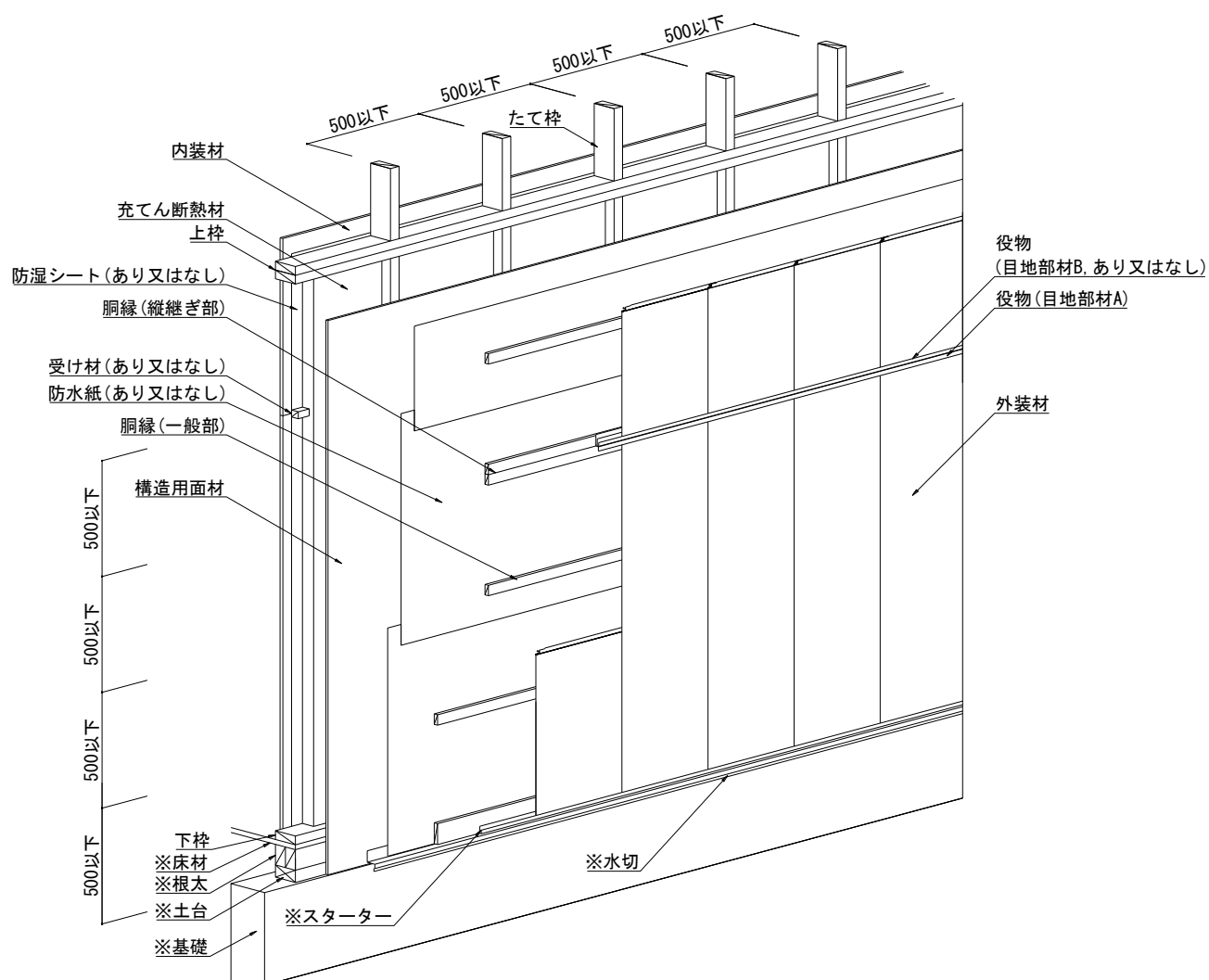
役物	仕様：①又は、①及び② ①目地部材 A 形状：立ち上がり 40(±4)mm 以上 出幅 20(±2)mm 以上 垂れ下がり 20(±2)mm 以上 厚さ：0.35(±0.05)mm 以上 ②目地部材 B 仕様：1)又は2) 1)1 ピースタイプ 2)2 ピースタイプ 形状：表面側立ち上がり 25(±2.5)mm 以上 裏面側立ち上がり 44(±4.4)mm 以上 水抜き穴：あり又はなし 厚さ：0.27(±0.05)mm 以上 材料、塗装又は被覆の有機質量：外装材①表面材と同じ
----	--

5. 仕様の構造説明図：

仕様の構造説明図を図1～図3に示す。

図中の単位については、特記のない限りmmとする。

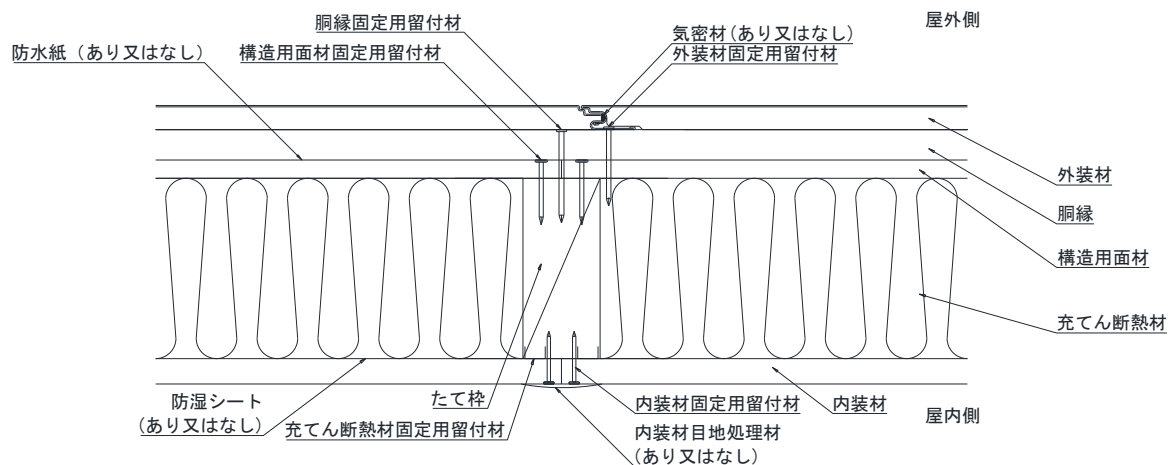
単位：mm



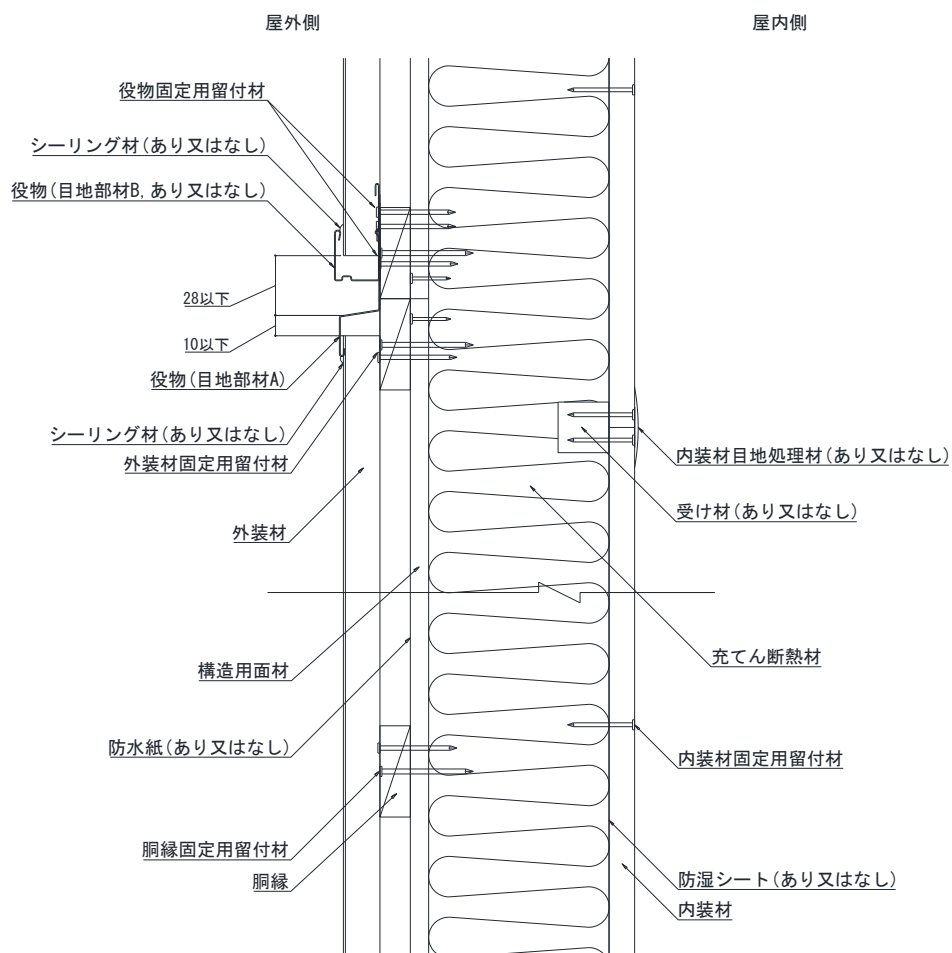
※は評価対象外

図1 構造説明図

単位：mm



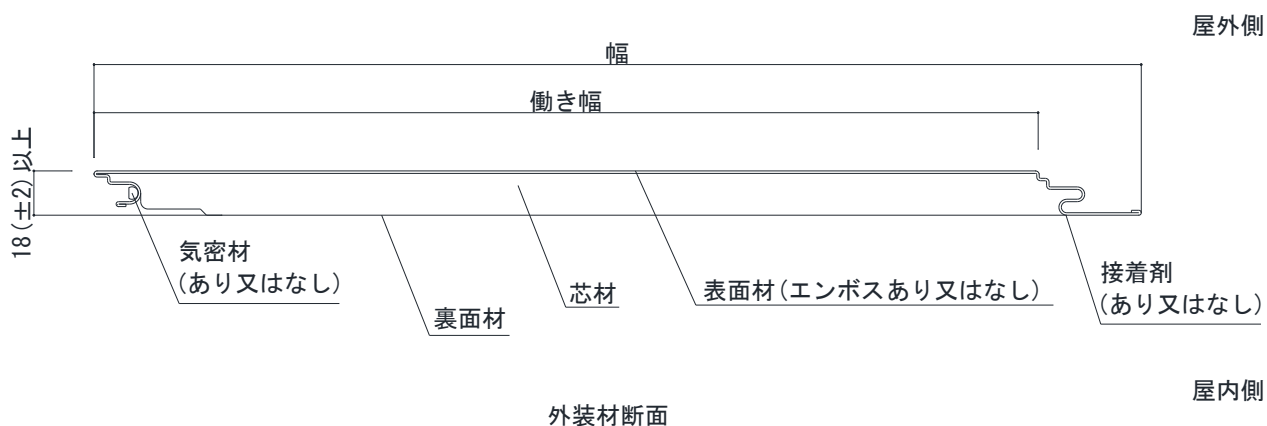
水平断面図



鉛直断面図

図2 構造説明図

単位：mm



※断面欠損率(%)：最大11(±1.1)%以下(厚さ18での比)

働き幅内の断面欠損率

断面欠損率(%) = 柄欠損 / (18 × 働き幅) × 100

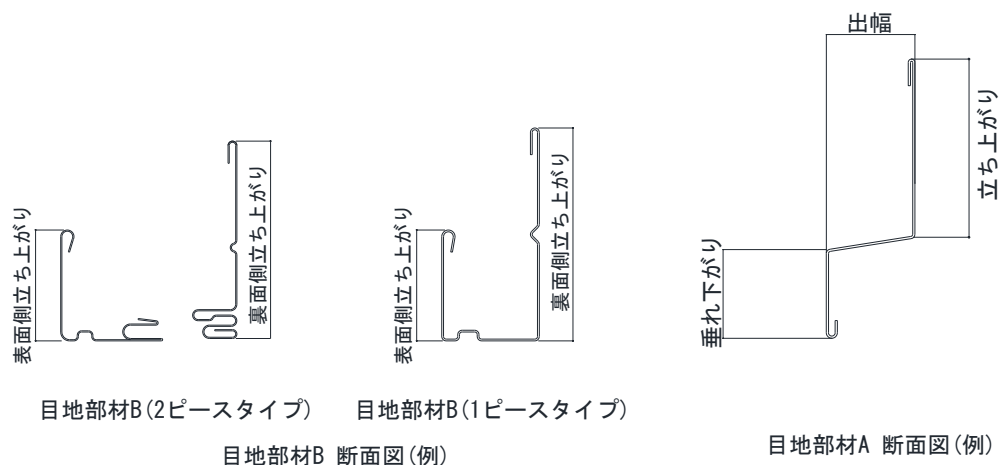


図3 構造説明図

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

1) 枠組

たて枠は、構造上支障のあるそり曲りのないものを使用し、500mm 以下の間隔で平滑に取り付ける。

2) 受け材の取付け

内装材及び構造用面材の横目地部には、必要に応じて受け材を使用しても良い。受け材はたて枠の側面に取り付ける。

3) 構造用面材の取付け

構造用面材は、構造用面材固定用留付材を用いて上枠、下枠及びたて枠に留付ける。

4) 水切(評価対象外)の取付け

あらかじめ土台部などに水切等を水平に配置し役物固定用留付材で留付ける。

5) 防水紙の取付け

必要に応じて防水紙を取付ける。防水紙は横張りを原則とし、出来るだけたるみ、しわのないようにステープルやテープ等を用いて留付ける。

6) 胴縁の取付け

胴縁は水平方向に配置し、不陸のないように平滑にたて枠等に胴縁固定用留付材を用いて留付ける。

7) 外装材の取付け

- ・ 1 枚目の外装材を水切上に水切と垂直にして、胴縁上に両端(左右のオス部、メス部)を外装材固定用留付材を用いて留付ける。なお、必要に応じてスターターを使用してもよい。
- ・ 2 枚目の外装材のメス部を 1 枚目のオス部に差し込み、その下部を 1 枚目に揃えてオス側を外装材固定用留付材を用いて留付ける。
- ・ 以下 3 枚目からは 2 枚目と同様に施工する。
- ・ 縦継ぎ部を設ける場合、役物(目地部材 A)と必要に応じて役物(目地部材 B)を縦継ぎ部となる胴縁に役物固定用留付材を用いて留付ける。
- ・ 外装材と役物(目地部材 A)の隙間は 28mm 以下とする。
- ・ 必要に応じて、役物同士の間や外装材と役物の間にシーリング材を施工してもよい。
- ・ 必要に応じて、外装材の意匠面から補強留付けしてもよい。
- ・ 必要に応じて、気密材は嵌合部内に収まるものを使用してもよい。

8) 充てん断熱材の取付け

たて枠間に充てん断熱材を入れ、充てん断熱材固定用留付材を用いて留付ける。

9) 防湿シートの取付け

必要に応じて防湿シートを取付ける。防湿シートは出来るだけたるみ、しわのないようにステープルやテープ等を用いてたて枠等に留付ける。

10) 内装材の取付け

内装材は内装材固定用留付材を用いて上枠、下枠及びたて枠に留付ける。

必要に応じて内装材目地部を内装材目地処理材を用いて処理する。

※注意事項

- ・ 本仕様を施工するにあたっては、本仕様と開口部、床、屋根及び軒裏等の取合いの部分において、炎の侵入を有効に防止し、所定の防火性能が損なわれないようにする。
- ・ 本構造に使用される各留付材は、構造説明図に記載される所定の留付先に十分なかかり代が確保されるよう、留め付けている材料の寸法に応じた適切な長さで使用する。